

## 「レモンに惹かれ、新しい可能性にチャレンジ」

佐藤 裕介 (37 歳)  
美和 (38 歳)  
(上島町)

新規参入・移住就農



### 1 就農の動機・理由

山形と福井生まれの二人は、それぞれ色々な仕事を経験する中で農業に興味を沸き、30代に入って始めた農業の季節バイトで出会った。その後、二人で西日本各地を巡るうちに、瀬戸内海のほぼ中央に位置する上島町岩城島でレモンに魅力を感じ、2018年7月に岩城島へ移住。上島町の定住支援制度の「上島町農林漁業インターン事業」を利用して2年間の研修を終えて就農した。

軽バン	1台
動力噴霧器	1台
管理機	1台
草刈り機	1台
液肥混入器	1台

### 2 農業経営の概要

#### ○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和2年)	現在の経営 (令和5年)	将来の経営 (令和8年)
労働力	男1人(本人) 女1人(妻)	男1人(本人) 女1人(妻)	男1人(本人) 女1人(妻) パート1人
経営耕地	樹園地 46a 野菜(施設) 8a 計 54a	樹園地 193a 計 193a	樹園地 193a 計 193a
経営内容	露地レモン 23a 愛果第28号 6a 甘平 4a 施設トマト 8a その他柑橘 13a	施設レモン 3a 露地レモン 38a 施設愛果第28号8a 露地愛果第28号6a 甘平 5a 温州みかん 50a その他中晩柑 83a	施設レモン 27a 露地レモン 38a 施設愛果第28号8a 露地愛果第28号14a 甘平 12a 温州みかん 50a その他中晩柑 44a

#### ○農業用施設

農業用倉庫	1棟
パイプハウス	7棟

#### ○主要農業機械

軽トラック	1台
-------	----

### 3 あしあと

#### (1) 就農までの主な経歴

出身地 山形県(裕介)  
福井県(美和)

職歴 裕介：建設関係

美和：株式会社フロンティア  
インターナショナル

就農研修歴

- ・上島町農林漁業インターン事業  
(H30.8.1~R2.7.31)
- ・就農年月 令和2年8月

#### (2) 就農時の思い

好きなことを仕事にしたいという思いは強かったが、縁もゆかりもない土地のため、ワクワク感と不安が入り混じった気持ちで移住した。住み始めて、島の色々な方と交流することで不安は小さくなり、「さあやるぞ」という気持ちになった。

### 4 就農時の取り組み

#### (1) 技術の習得

岩城島の農家や県今治支局地域農業育成室岩城駐在職員から農作業を通じて主要柑橘品種の栽培技術やパイプハウスの建設、荒廃園地の開墾技術などを実践しながら自分の技術として身に

つけた。

## (2) 資金の準備

自己資金と農業次世代人材投資事業（開始型）給付金を利用し農業経営を開始した。

## (3) 農地・住宅の確保

農地は役場、NPO法人豊かな食の島岩城農村塾、地元農家、農業委員会の協力で確保できた。

住宅は町所有、NPO法人が管理する定住促進住宅に空きがあり入居した。

## (4) その他苦労したこと

先輩農家から何を栽培するにしてもハウスは要るぞと言われ、パイプハウスの建て方や中古の資材の情報をいただき、自主施工で建てた。

ハウスに愛媛果試第28号とレモンを植え付けたが、直ぐに収入につながらないため、柑橘苗木の間作でトマトやさやえんどうを栽培して収入を確保した。

## 5 農業経営の特徴

ハウスでレモンや愛媛果試第28号（紅まどんな）など多種類の柑橘類を生産している。レモンに関しては、ハウス栽培による良質な果実生産と夏季レモン生産による周年収穫にチャレンジ中。また、お客様に安心して美味しい柑橘を食べていただきたいとの思いから愛媛県特別栽培農産物等生産登録認証を取得した。

## 6 これからの夢

経営計画を達成させるため、計画的に農業基盤を整備して安定した農業経営を目指すこととしている。

また、柑橘以外の農作物の栽培や販路拡大など、新たな農業にもチャレンジしたいと考えている。

## 7 成功したキーポイント

短期・中期・長期の経営計画を立て、やることを明確にし、計画は、都度見直し改善した。また、夫婦二人で役割を分担し、それぞれの役割を補完しながら全うできていることが大きいと考えている。

## 8 就農を目指す方へのアドバイス

何事も悩みはつきものですが、やると決めたらできることを精一杯やるとともに楽しむことが大事だと思います。私達の頑張る姿を見て、困った時には周りの方々がたくさんの事を教えてくれるなど、本当に支えられていると感じています。

感謝の気持ちを忘れずに、頑張りながら楽しむことが大切です。

### ○ 指導機関からのひとこと

Iターン就農というハンデがありながらご夫婦で役割を分担し、PDCAサイクルの実践により着実に実績を伸ばしています。高齢化が進む上島町で貴重な担い手として今後の移住就農のお手本となる経営者となられることを期待しています。

### 執筆機関

今治支局地域農業育成室  
しまなみ農業指導班岩城駐在  
電話番号 0897-75-2014



ハウス建設とレモンの収穫作業